

耐熱形配電盤等型式認定の手引(平成25年度版) 訂正のお知らせ (2)

JEA 非常用配電盤等認定委員会
平成26年3月3日現在

認定の手引(平成25年度版)、次の内容の訂正又は追記をお知らせします。

頁	訂正	内 容								
13	前	表内、一種耐熱形配電盤、一種耐熱形分電盤を二種に訂正する。 表3-2 二種耐熱形配電盤等の型式区分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">一種耐熱形配電盤</td> <td>専 用 形</td> </tr> <tr> <td>共 用 形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">一種耐熱形分電盤</td> <td>専 用 形</td> </tr> <tr> <td>共 用 形</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	区 分	一種耐熱形配電盤	専 用 形	共 用 形	一種耐熱形分電盤	専 用 形	共 用 形
	種 別	区 分								
一種耐熱形配電盤	専 用 形									
	共 用 形									
一種耐熱形分電盤	専 用 形									
	共 用 形									
後	表3-2 二種耐熱形配電盤等の型式区分 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>区 分</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">二種耐熱形配電盤</td> <td>専 用 形</td> </tr> <tr> <td>共 用 形</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">二種耐熱形分電盤</td> <td>専 用 形</td> </tr> <tr> <td>共 用 形</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	区 分	二種耐熱形配電盤	専 用 形	共 用 形	二種耐熱形分電盤	専 用 形	共 用 形	
種 別	区 分									
二種耐熱形配電盤	専 用 形									
	共 用 形									
二種耐熱形分電盤	専 用 形									
	共 用 形									
17	前	5.3.1(2) に、次の文章を追記する。								
	後	ただし、防災電源回路に一種耐熱形機器及び耐火電線を使用した場合は、幅350mm、高さ400mm、奥行き200mmとすることができる。 なお、この場合において、正面の面積が2000cm ² 以下のものは、板厚1.2mm以上のものを使用してもよい。								
18	前	5.3.2(4) のただし書きの前に、次の文章を追記する。								
	後	なお、同等以上の性能を有する電線を使用してもよい。								
52	前	型式認定申請書の記入例の添付図書類の欄において 7. 断熱ボックス構造図に追記する。								
	後	7. 断熱ボックス構造図(供試品)								

耐熱形配電盤等認定基準 4.3.1(9)として、下記を追記する。

15	キャビネットには次に掲げる以外のものが、露出してはならない ア. 表示灯 (耐火形表示灯) イ. 電線の引込口及び引出口 ウ. 扉用把手及びかぎ (耐火形扉用把手)
----	---

耐熱形配電盤等認定基準 5.3.1(9)として、下記を追記する。

18	キャビネットには次に掲げる以外のものが、露出してはならない ア. 表示灯 (孔径φ15以上、レンズはキャビネット正面より突出しているもの) イ. 電線の引込口及び引出口 ウ. 扉用把手及びかぎ (金属製) エ. 120度の温度を加えた場合において破壊されない電圧計又は電流計
----	---